臺灣昌新民幸報 夕刊 十一月十日
（第二版）（原稿配達）（昭和十一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十二年十一月十日 新日本興業 新日本新聞 第一万三千五百二十五號 （一）

大山大尉憤死の地を二月目の命日に占領

一番乘りの脇坂部隊長

現場に立つて暫し默禱

【上海九日發同盟】支那軍の殘敵は杭州灣北岸金山衛に對し依然執拗なる抵抗を續けつゝあるが我軍は之が掃蕩に當り十一月六日金山衛東南方約一里のC高地を占領し更に七日金山衛を完全に占領した

外人住宅で抵抗

【上海九日發同盟】支那軍の殘敵は杭州灣北岸金山衛に對し依然執拗なる抵抗を續けつゝあるが我軍は之が掃蕩に當り十一月六日金山衛東南方約一里のC高地を占領し更に七日金山衛を完全に占領した

國家總動員法の内容

臨時立法を包括强化

ソ聯代表歸國

九國會議に憤慨して

防共協定に對抗

政治的示威工作

英米ソ三國間に進捗

第七十三通常議會

召集詔書公布さる

十日官報をもつて

業者委員が反對

電力國家管理案に

南市の平和的な明け渡し工作

無辜の市民保護の爲

青浦縣城を確保

徹宵進擊を續けて

仁家橋、劉家坟を占據

城内に逃げ込む

日佛兩國間に事端を釀さんとする魂膽

崑山停車場を猛爆

青陽港西岸に

守備陣地を構築

蘇州無錫の部隊集結

貨車二百六十輛

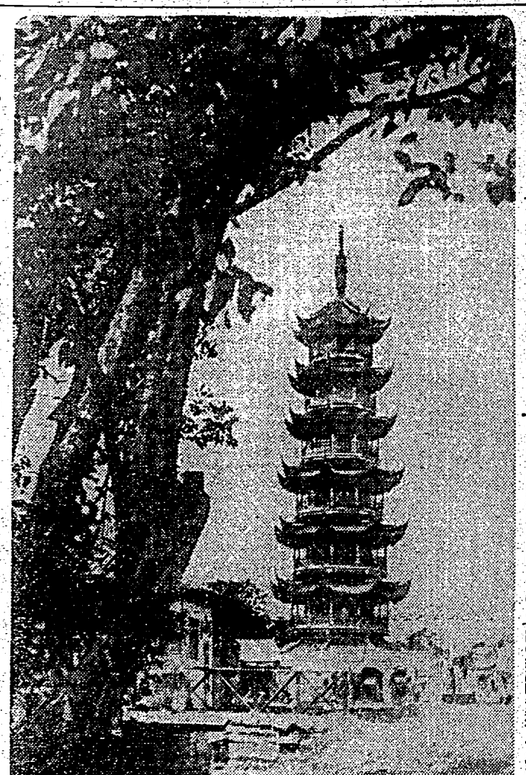
機關車百五十輛

空爆による損害

名刹龍華寺に

日章旗が飜る

我が軍が日章旗を飜した龍華の塔



浮標のごとき女

尾崎士郎作 梁川剛一畫

（133）

悲しき人々（二）

オゾ

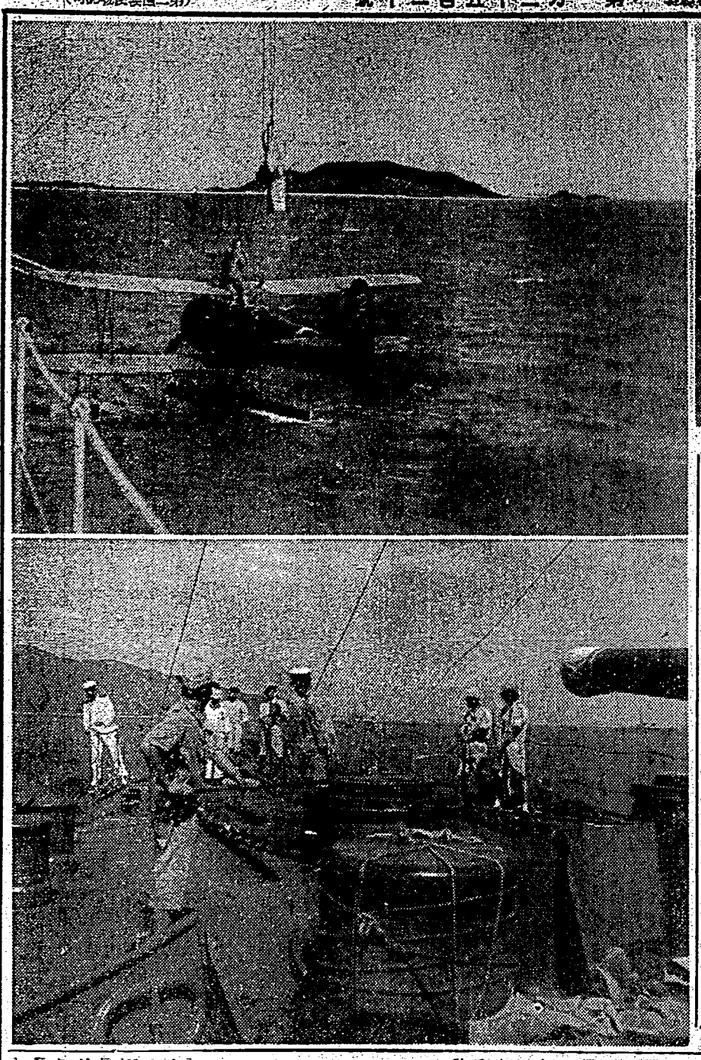
お化粧下や顔そり後に

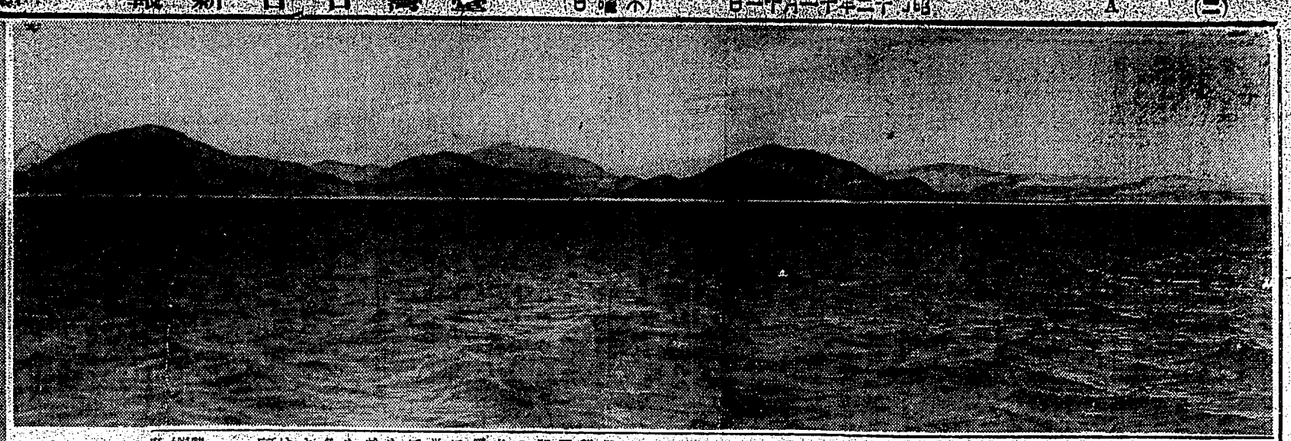
化粧を生命とする美屋では白粉下に又鉱毒の豫防にオゾが盛んに使はれて居りますのは、公知のことでございますが、一般の御家庭でも常に殺菌力の强いオゾの下地でお化粧をなさいますと、第一衛生的であり、のびがよく、あれを防ぎ、白粉くづれせず、お肌にしつとりしみ込むオゾの深遠作用が、皮膚の組織を適度に刺戟して新陳代謝を促し、傷を治し、栄理作用で新鮮なお肌に整へ、美容をよくし、皮膚を根本的に美化いたします。又顔剃後の殺菌消毒に、あれやかぶれを防ぎ、その芳香は氣分をさつぱりと致します。

怪我 火傷 皮膚病 靴擦れ 痛み 頭痛 ふけ 吹出物 鼻ぢ 神經痛 炭疽病

東京大森 オゾ本舗 都南荘

A—41





皇軍大勝を祝賀
また大提燈行列
十二日夜、全島一齊に

さきに大場鎮、昭行鎮、江湾鎮を進攻した上海戦線の我が皇軍は今また杭州湾上陸した精鋭部隊と相呼応し勇戦敵陣に挙げての大提燈行列を行ふ筈に決し総督府にたかてん同時に山吉の聖旗太陽を翻し、更に国民として感激の外はない、これを機としてここに又もや最新大勝報と共に輝く戦果を収めるに至つたが、北支に於ても同時に山吉の聖旗太陽を翻し、更に国民として感激

事變下、緊張の秋
全島で詔書奉讀式
國民精神作興週間

「国葉保のもとは国民精神の顕健にあり」との趣はさせられた国民精神作興週間は十日より一週間に亘り実施されるが、本島では同十一時半より全島官民挙げて詔書奉讀式を行ひこの影響しい市街戦に市民の足を止めるため、又水上署では後一時より全員提服を着つけて警備船及び警戒艇を出動、海上に厳重な警戒網を張つて吉田市尹の国民精神作興週間の第一日の十日午前八時市内全部官公署学校等に国旗掲揚、国歌合唱に引続いて詔書奉讀式を挙行した

鈴木少佐以下六十五柱
あす○○○凱旋
中山中佐以下三十五柱
あす午後十一時○○驛通過

○○部隊の精鋭として数々の武勲赫々たる○○部隊の中山中佐以下三十五柱の遺骨は十一日夜砂丸にて無言の凱旋をなすこととなつたが、中山中佐以下三十五柱の遺骨は同日午後十一時二十四分○○駅を通過、又鈴木少佐以下六十五柱の遺骨は同日午後二時五十五分○○駅着それより駅頭を厳重する等、○○通りを選み○○町にて左折し、公園に沿つて右折し、○○護國神社を進み、○○驛の一般市民は駅より隊に入り一般参内に安置し、翌十二日同隊にて告別式を行ふ筈であるが、出迎へは駅頭内は告別式の案内を受けた者のみに限られ、其他関係一般市民は駅より隊に至る道路にて出迎へる事となつて居る

海南島を望む

上右　海南島遠望　上左　偵察に出動の○○艦載機（遠方に見ゆ）下　○○島に碇泊、錨を下す○○艦
岡山本社特派員撮影——総督府許可済——

基隆

【基隆電話】基隆市にては十日の国民精神作興週間を目に際し市役所等では詔書奉讀式を挙行する筈であつたが、本島では一昨年より詔書奉讀式を挙行し一昨年より詔書奉讀式を挙行したが祭祝後では一般市民は駅より隊に入り一般参内に安置し、翌十二日同隊にて告別式を行ふ筈であるが、出迎へは駅頭内は告別式の案内を受けた者のみに限られ、其他関係一般市民は駅より隊に至る道路にて出迎へる事となつて居る

新竹

【新竹電話】新竹市にては国民精神作興週間の第一日の十日午前八時市内全部官公署学校等に国旗掲揚、国歌合唱に引続いて吉田市尹の国民精神作興週間第一日の万歳を三唱して全部隊位を整へ新竹神社に参拝同九時四十分頃夫々散會した、各官公署学校にては十時過ぎ夫々詔書奉讀式を挙行し又各地にて部隊の如く国民精神総動員に即する作興週間の行事に盛んなる熱意を示した

新竹

【新竹電話】新竹市にては国民精神作興週間の第一日の十日午前八時市内全部官公署学校等に国旗掲揚、国歌合唱に引続いて吉田市尹の国民精神作興週間第一日の万歳を三唱して全部隊位を整へ新竹神社に参拝同九時四十分頃夫々散會した、各官公署学校にては十時過ぎ夫々詔書奉讀式を挙行し又各地にて部隊の如く国民精神総動員に即する作興週間の行事に盛んなる熱意を示した

基隆

【基隆電話】基隆市にては十日の国民精神作興週間を目に際し市役所等では詔書奉讀式を挙行する筈であつたが、本島では一昨年より詔書奉讀式を挙行し一昨年より詔書奉讀式を挙行したが祭祝後では一般市民は駅より隊に入り一般参内に安置し、翌十二日同隊にて告別式を行ふ筈であるが、出迎へは駅頭内は告別式の案内を受けた者のみに限られ、其他関係一般市民は駅より隊に至る道路にて出迎へる事となつて居る

部落振興會發會式

【新竹電話】新竹市沙崗、吉羊部聯合部落振興會發會式は九日午後八時から沙崗二藤守國民校にて會員百数十名出席の下に盛大に開かれ引續き国民精神総動員講演會を開催したが同會は新市助役外市内小公学校長、所轄出所警官等より夫々国民精神作興或は時局の正しい認識に関し有益な講演をなさせる筈が出席者らうです、皇軍の強い姿は即々から承知してゐますが新しい講演に聞い強い我が皇軍と共に戦後で活躍出来るのは基隆擔共二個の光榮であります、今後も一層月重し五百万島民の名を恥しめない様に勉さゝやから皆々様に宣しく軍夫　奥　永清

秋を彩る菊花展

【基隆電話】九月十日前中に基隆部で催業報後二時より一般観衆者の観覧に供せり一般先一名員加

基隆郡の鑛業事故

即死一名重傷一名

【基隆電話】九月十日前中に基隆部で催業報後二時より一般観衆者の観覧に供せり一般先一名員加

一名を出した

一、午前九時金瓜石日本鑛業五坑内二ヶ所で落盤の坑内事夫楊金山(三)及び孫(三)顧元順(三)の頭各に供れも頭死の重傷を負つた

一、隣方庄大坑頭二坑探鉱員乙食(四)は午前十時半頃坑道探鉱の為め下數となつて即死した

詳時の石田巡査談

大日本鑛業流鉱鉄鋼所の主任石田某氏が此様来台、講演會開催をモットに台北から東台湾及び西部を一巡する由である

第二讀金九拳銃

乗組員は無事

【基隆電話】基隆市西町西村交百氏所有の漁船第二讀金丸（八〇噸）は去る九日午前五時頃漁船第一讀金丸と共に新竹州中埔沖を航行中誤つて坐礁大破、乗組員は山下船長以下全部第一讀金丸に救助されて九日夜無事基隆に帰着した

五臺のリヤカーに
慰問袋を滿載
皇軍へ、蓬萊公兒童から

蓬萊公学校（女子）全生徒四百二十八名は十八名は戦線にあつて活躍する皇軍将士に慰問袋を贈りたいといふので先般来から作製中であつたが、この程出来上つたので十日正午下川校長が引率し高等科六十名が代表一行（寫眞は市役所について）

御成町の晝火事

台北市御成町二の七李連法方より十月午前十時半頃さかんに黒煙を出し出火してゐるのを隣家発見已方の避女が発見、火勢は折柄の強風にあふられ物凄く一時は附近一帯危険に瀕したが警報により駆けつけた市内各消防隊青年團等の必死の消火で間記李連法方隣家発見已、寝室、書記部方等の二棟二戸を焼いて同十一時十五分鎮火した、何せよ昼間の出来事で見物人殺到大騒ぎを演じたが原因は前記李連法方娘の煙の火の不始末からしい

"皇軍と共に活躍"
軍夫として光榮
血書從軍の軍夫の便り

二度も血書して軍夫を志願したその固い決心の程が認められ見事上海戦線で活躍してゐる台北市寿町一〇九番戸小林熊吉倅十月二十日附で台北の友人宛に次の如き書信を寄せ軍夫一同の健闘を報じてゐる

小生出發の際には色々と激励の御言葉を頂きまして有難うございました、小生等軍夫一同は〇月〇〇日上海より〇〇里離れた第十北より上陸して只今思思勇ましき皇軍将兵の指揮に従ひ一生懸命になつて働いてゐますから何卒御安心下さい、今日は一寸暇が出来ましたから御報告申上げます、我々の活躍してゐる所は何処を見ても山一つなく一面に棉の畑ばかりで、道路には便衣隊や支那兵の死體が無数にころがつてゐますが、クリークも多数あつてその中にも支那兵の死體がはまり込んでゐます、それを我が将兵は伏せ出にしてゐますが第が強くてゐるので病気に罹らないのです、四、五日前に我が軍が敵の〇〇陣地を攻撃したが皆々軍夫も行動を共にし〇〇地点の突撃に一夜を明かさうと入つた所突撃内の便所に手が一匹落ち込み悪臭をかぎつけの蠅であつたのでそれに驚れてゐる為であつたのです、驚れてゐる為であつたのです、驚れてゐる思ひ込みマッチをつけて見たら手足でしたから後は一同で大笑ひをしました、兵隊さん達の御話では上海よりも敵一人で陥落させる事が出来るさうです、皇軍の強い事は即々から承知してゐますが新しい講演に聞い強い我が皇軍と共に戦後で活躍出来るのは基隆擔共二個の光榮であります、今後も一層月重し五百万島民の名を恥しめない様に勉さゝやから皆々様に宣しく軍夫　奥　永清

前線の軍夫が
恤兵金
給料を割いて

台北市岩町二ノ三陳内治吉君は軍夫を志願し月六〇〇銭宛にて活躍中であるが第一回の給料の中から、本人の出發前の希望ですからと同宿の父親之二十円を恤兵金として出發前軍夫部隊長に手渡したので、同部隊長は感激して早速十日台湾日日新報社に共の手紙を添えた

臺湾刀と棍棒で大亂闘
刑事が單身十手で逮捕

【基隆電話】十日午前八時半頃基隆市堀川町一七二藤亜碗（三）方に同地林興（七）が乱入し一尺二寸の台湾刀を振つて殴り込み斬り付けんとしたので藤亜碗は隣家を以て抵抗大乱闘を演じてゐるのを折柄警行中の基隆署刑事が発見事態にも驚身十手を振つて割つて入り林興の来襲目的であるが原因は藤亜碗が林の母に暴行を加へたので復讐すべく乗込んだものである

基隆郡の鑛業事故

即死一名重傷一名

【基隆電話】九月十日前中に基隆部で催業報後二時より一般観衆者の観覧に供せり一般先一名員加

一名を出した

一、午前九時金瓜石日本鑛業五坑内二ヶ所で落盤の坑内事夫楊金山(三)及び孫(三)顧元順(三)の頭各に供れも頭死の重傷を負つた

一、隣方庄大坑頭二坑探鉱員乙食(四)は午前十時半頃坑道探鉱の為め下數となつて即死した

詳時の石田巡査談

大日本鑛業流鉱鉄鋼所の主任石田某氏が此様来台、講演會開催をモットに台北から東台湾及び西部を一巡する由である

秋を彩る菊花展

島都の秋を彩る新公園の菊花展は十日から開催され一般観衆者の観覧に供せらるゝが、審査の結果入賞者は次の通り

知事賞　福仲佐、佐久間鎌吉、橋野平一
市尹賞　大橋為徳、柯正介、加藤彰
議長賞　生野焼六、田中良三、蓬莱公園、大田静夫、
柴井久友、三尾利一、松山善雄
一、煙草一本場　二、大田静夫　三、柯正介
（寫眞は菊花展）

今晩の映画

◆大世界館（共十二時半上映）
1.地に潜るギャング　午後二時　八分　四時三分
2.歩ける死骸　午後五時　八分　七時三分
3.牡丹燈籠　午後八時　八分　十時三分
4.ニュース・タイム　午後十一時　八分
支那事變特報ニュース・社ニュース

◆圖書館（共十二時三分上映）
1.令嬢見学　午後一時　五分　三時五分
2.ローマンス乾盃　午後三時　五分　五時五分
3.皆日の皇軍　午後六時　五分　八時五分
支那事變ニュース

◆芳乃館（共十二時三分上映）
1.さらば外人部隊　午後一時　三分　三時三分
大陸ニュース
2.猫目支那事變ニュース　午後三時　三分　五時三分
3.見送白頭巾　午後六時　三分　八時三分
4.皇軍一度起たば

◆新世界館（共十二時半上映）
1.銀幕新聞　午後一時　三分　三時三分
バル座ニュース56号
2.銃火の朋友　午後三時　三分　五時三分
3.挺身四部隊　午後六時　三分　八時三分
4.皇軍の誓言

◆タイゲキ（共十二時上映）
1.龍馬は強い　午後一時　三分　三時三分
2.若旦那百万石　午後四時　三分　六時三分
3.支那事變特報　午後七時　三分　九時三分
4.宝塚小笠原協動

◆大世界館（共十二時半上映）
1.地に潜るギャング死骸　午後二時　三分　四時三分
2.歩ける死骸　午後五時　三分　七時三分
3.牡丹燈籠　午後八時　三分　十時三分
4.ニュース・タイム　午後十一時　三分
支那事變特報ニュース

◆圖書館（共十二時三分上映）
1.令嬢見学　午後一時　五分　三時五分
2.ローマンス乾盃　午後三時　五分　五時五分
3.皆日の皇軍　午後六時　五分　八時五分
支那事變ニュース

◆芳乃館（共十二時三分上映）
1.さらば外人部隊　午後一時　三分　三時三分
大陸ニュース
2.猫目支那事變ニュース　午後三時　三分　五時三分
3.見送白頭巾　午後六時　三分　八時三分
4.皇軍一度起たば

◆新世界館（共十二時半上映）
1.銀幕新聞　午後一時　三分　三時三分
バル座ニュース56号
2.銃火の朋友　午後三時　三分　五時三分
3.挺身四部隊　午後六時　三分　八時三分
4.皇軍の誓言

◆タイゲキ（共十二時上映）
1.龍馬は強い　午後一時　三分　三時三分
2.若旦那百万石　午後四時　三分　六時三分
3.支那事變特報　午後七時　三分　九時三分
4.宝塚小笠原協動

御成町の晝火事

台北市御成町二の七李連法方より十月午前十時半頃さかんに黒煙を出し出火してゐるのを隣家発見已方の避女が発見、火勢は折柄の強風にあふられ物凄く一時は附近一帯危険に瀕したが警報により駆けつけた市内各消防隊青年團等の必死の消火で間記李連法方隣家発見已、寝室、書記部方等の二棟二戸を焼いて同十一時十五分鎮火した、何せよ昼間の出来事で見物人殺到大騒ぎを演じたが原因は前記李連法方娘の煙の火の不始末からしい、撮害約四千円の見込み、なほ消防隊安藤長、高橋警部補、大塚北署長以下北署員現場に急行詳細取調べた（寫眞は現場）

表町にも小火

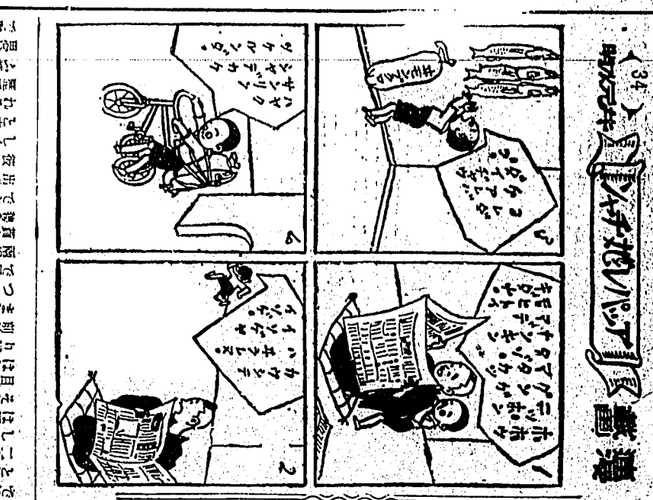
台北市栄町二丁目南発呉支店倉庫玉突商発方発物置より十日午前十時頃出火、ほんの小さい程度で間もなく鎮火したが原因は子供の弄火からしい

内臺定期航空路に
百パーセント安全性
宣蘭のラヂオビーコン好成績

内臺航空の理想は宣蘭のラヂオビーコンが設置実施し十日はスーパー機の飛ばせて吉辰、宣蘭間で操縦実験を行つた、午前九時頃宣蘭飛行場上空に現はれた一機のスーパー機は宣蘭飛行場を一周して着陸、同機は台北飛行場の土居技師等の操縦で宣蘭飛行場の設置状況の視察の為めに来たもので、同機は宣蘭飛行場の上空

漫画　一長あれば一短あり！　阪房其は何か、よく考えて選ぶ事

（上）衛生綿の話



家庭と婦人

主婦の仕事

石炭の鑑別法

真冬の野菜

美味い汁物二種

冬の赤ちゃんに必要な持物

験実の料理

方が姿勢よい

果肉を取った

新発売

新発売

新発売

ルーゴンゲ　シオラブ

ヒンヤリ疼痛パップ剤

カモス膠糖

モカのコバタ

ソモルホ尼童　ソチスロドンア

頭痛に

ヘーベーせき

ヒロミン

ヒロミン

ヒロミン

國定忠次

（102）

長谷川伸作
岩田專太郎畫

一年間の執行者ザツと二十名
何がその原因をなすか

死物刑語囚（上）

生さんとする生命を絶つことの悲壯さを感じて、殺たびか死刑囚の止宿が明られながらも、人人ともに許さざる罪惡非道の犯罪に對する憤一の刑罰として、死刑の制度が採用してゐる我が國に於ては昨年一千名以前後の人命が經濟苦の器と消えてゐる。ここ數年間に於ける司法統計によると

昭和六年度	一九名
同　七年度	二一名
同　八年度	二八名
同　九年度	二三名
同　十年度	一四名

と云ふ數字を數へ、人の首を斷るここ六年を初めに等しい非常時國民や、國際聯盟脱退の結果相手方を敵視する諸外國とよりソ聯邦を除いては、近代文明國「日本」にも外ならぬ那邦内のこ國かされるのである。

× × ×

死刑の執行を命令してみると十中の八までは物質慾に迫られたもので、物質關係による殺人がこれに次ぎ、諸外國に數倍する思想的犯罪に基づく死刑は少なく、殆ど皆無といつてよい。

次に死刑の執行を受けた人の年齢を見る。

▲去る昭和六年七月二十七日、東京市淀谷區原宿一ノ八六番地荒川義雄（二七）＝仮名＝が、同居の叔母（二）を殺害の上、同家に放火して全焼せしめた事件の犯人として死刑の判決を受けた荒川義雄の年齢は二十一歳であつた。

▲大分縣北海部郡佐賀關町大字大字大在村荒林勘助（二）同村大田尾字佐浜（二）の兩名は同村大田尾所有の發動機船「丸山丸」（二九噸）を強奪、支那方面に密航しようと計画したが、最近に於ける最も進歩した犯罪からうか、昭和十年十一月二十一日、犯人の一人勘助は愛知縣下から顔見知りの漁夫數名を誘ひ出して、同縣知多郡内海町の漁船を強奪して逃走したが、同縣警察部の活動により、同縣知多郡内海町沖合で、同縣警察部の活動により、同縣知多郡内海町沖合で、同縣警察部の活動により、同縣知多郡内海町沖合で

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
東京 人行設計顧問 木々佐
所在地 臺灣日日新報社
電話 代表二〇九番 編輯二〇三番
定價 一部五錢 一ヶ月金五拾錢 一ヶ年金六圓 前金
廣告料 一行金拾錢 一ヶ月金壹圓五拾錢 一ヶ年金拾五圓
（第二種）（原稿記錄）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十二年十一月十一日 臺灣日日新報 （木曜日）第一万二千五百二十號 A （十）

各國司令長官等が 我戰勝を祝福

自動車を連ねて戰跡を視察 輝く武勳に驚歎

【上海十日發本社特電】大上海の完全なる占領に成功せる皇軍の意氣は正に天を衝くの概あり我が軍司令部には日本晴れの陽光を浴び日章旗は檣頭高く翻風に翩翻と飜つて居る、この日午前九時三十分英國支那艦隊司令長官リゾトル中將、佛支那艦隊司令長官ビゴー少將、イタリー東洋艦隊司令官サラ大佐の各長官を始め英、米、佛、伊各國司令官副官、陸海軍武官等約二十名は車を連ね我軍司令部に松井司令官を訪問事變來最初の歷史的會見を遂げた、斯くて各國長官より皇軍の戰勝に對し祝意を表し松井司令官又是に對して鄭重なる謝意を述べたが一行はその希望により我が參謀の案内で車を連ねて戰跡を視察、皇軍の正確なる砲撃爆撃の跡に感激殊に皇軍の保護を受け支那土民等の何不自由なく安住する寶山城方面の和やかな狀況には洗石に意外の面持であつた

日本軍に感謝せよ

上海タイムス紙の論說

【上海十日發同盟】現在の上海は戰爭の惨禍に依り最初の安全が保障された筈は全然外人に大の歡喜を與へてゐるが十月前の英字紙「上海タイムス」は「日本軍に感謝せよ」と題し大要次の如き論說を掲げた

三ケ月に亙る戰闘の後日本軍は遂に租界を戰爭地區から切離し租界並に上海居住の非戰闘員に對する危險が非常に減少されたからである、誠に遺憾なのは支那軍が撤退に際して放火した事でそれは軍事上に必要であるとしてもこの光景を見る者には遺憾に堪へない、日本軍の上海包圍と共に幾多の行政上或は政治上の問題が發生した、吾人はこの際上海人士がステーツマンシップを發揮されん事を希望する、斯くて初めて平和と協同が誘致されてあらう

倫敦各紙も大々的に掲載

【ロンドン九日發本社特電】上海の戰闘記事は九日のロンドン各紙に大々的に掲載され殊に「デーリー・テレグラフ」紙上海特派員ピーター・ヤング氏の「日本軍に感謝せよ」と題する論說は特に目を引いてゐる

兩部隊長感激の握手

上海と嘉善を占據

【上海十日發同盟】上海の戰況は愈々最後の段階に入り十日朝來急追部隊の遠方愈々激しく後等の運命は正に袋の鼠化せんとしてゐる

必死で後退開始

退路遮斷に狼狽して

【金山十日發同盟特派員■杭州灣上陸○○部隊の神速果敢なる作戰に依り南京への退路の危機を悟つた上海南部の敵は九日夜必死の後退を開始したが十日朝來急追部隊の遠方愈々激しく後等の運命は正に袋の鼠化せんとしてゐる

【金山十日發同盟】松江方面より南下中の下枝、伊佐兩部隊は十日早朝十時現在南方約八キロの地點に進出したが、斯くて兩部隊の中の上海北部寄りとの距離は僅かに十六キロの近くに迫つた

兩部隊長感激の握手

（上海十日發同盟）南方より北進した新鋭上陸部隊の先鋒と上海方面より南下中の精鋭は十日午前四泖鎭東方地區において相合し南北の連絡を完成した、斯くて大上海は揚子江岸より杭州灣を結ぶ南北の一線に依り奥地との連絡は完全に遮斷された

嘉善を占據

【金山十日發同盟特派員】杭州灣鎭の小堤、新開、陳山、片岡の各部隊は十日嘉善を占據した

上海の喪失は 國府の致命傷

愈よ奥地赤化に拍車

【上海十日發同盟】蔣介石の上海包圍を以て今後上海と最短期間の交通遮斷に腐心せる事は明かである、然し乍ら上海の喪失は決して國府の致命傷たるに過ぎない、之が國民一般に與へる物質的精神的影響は極めて大なるものあり又國民の間に動搖を來すことは免れない、吾人は國府が上海の喪失に依つて直ちに崩壊するとは考へないが、之れが爲に國府の抗戰意志が多少なりとも弱化するであらうことは想像に難くない

麻醉

【上海十日發同盟】蔣介石の上海包圍を以て今後上海と最短期間の交通遮斷に腐心せる事は明かである、然し乍ら上海の喪失は決して國府の致命傷たるに過ぎない、之が國民一般に與へる物質的精神的影響は極めて大なるものあり又國民の間に動搖を來すことは免れない、吾人は國府が上海の喪失に依つて直ちに崩壊するとは考へないが、之れが爲に國府の抗戰意志が多少なりとも弱化するであらうことは想像に難くない

倫敦各紙も大々的に掲載

【ロンドン九日發本社特電】上海の戰闘記事は九日のロンドン各紙に大々的に掲載され殊に「デーリー・テレグラフ」紙上海特派員ピーター・ヤング氏の「日本軍に感謝せよ」と題する論說は特に目を引いてゐる

斷然破棄せん

伊ソ不可侵條約

ソ聯の抗議 ムッソリニ首相が憤慨

【ローマ九日發同盟】ソ聯政府はイタリーの日獨の承認並に防共協定參加に對し七日ローマ駐劄ソ聯大使を通じ伊政府に抗議を提出したが九日ムッソリニ・ローマ支局がプラシスト紙上の談として報道する所に依ればムッソリニ伊首相はソ聯政府の態度に「憤慨」千九百三十三年締結の伊ソ友好不可侵條約破棄を意味するのではないかと見らるる、右破棄の理由としてムッソリニ首相は

一、ソ聯政府はフランス政府と千九百二十五年相互援助條約を結ぶことに依つて伊ソ友好條約を無用化した

二、ソ聯政府は千九百二十六年の獨ソ間の中立條約に違反した

との二點を挙げるであらうと傳へられる

軍司令官南下

十二日夜行で

吉住軍司令官は昔御式參列の爲め十二日夜行で以て南京に向ふ筈である

歸國の途につく

ソ聯のリトヴィノフ代表

【フランセル九日發同盟】九國條約國會議のソ聯代表リトヴィノフは九日夜フランセルを出發歸國の途に就いた

快報！廣陽占領

五百の死體を遺棄し 山西軍西南方に潰走

【太原九日發同盟】正太線方面より山西省内に深入する○○部隊は正太線上の○○鎭を占領せる後更に進んで晉綏軍の主力○○○を撃破して○○○に迫つたが、敵は○○○

内鮮臺滿に亙る葉煙草ブロック

工業鹽問題は益々面白くなる

上京に先立ち 今川局長談

今川專賣局長は十五日から約一ヶ月間の豫定を以て專賣事業に關する打合のため上京することとなつたが語る

◇……色々の會議が開かれるので大變忙しくて行つて來る、先づ關係については二十四日から二十六日までに內地專賣協議會なるものが開かれる、之は望するに內鮮台湾に大專賣ブロックを結成し彼此連絡するにも又外國から葉煙草を購入するにも又外國へ輸出するにもすべて共同戰線を張り共通の利害のもとに行動しようではないかといふ問題を協議するのである

◇……斯んな會議は今回が始めてで從來ともあること思ふ、之がうまくゆけば各種專賣の專賣價格が一致するやうになるし、又原料の共同購入も出來るし、又製造方法の研究も出來るし、又製品の改良も出來るし、又販賣方法の研究も出來るし、又販賣價格の統一も出來るし、又販賣數量の統一も出來るし、又販賣數量の統一も出來るし、又販賣數量

（第三種郵便物認可）　昭和十二年十一月十一日　（木曜日）　臺灣日日新報　第一万三千五百二十號　（三）

文藝

思想の憂鬱（下）

三枝博音

私たちは信仰と信仰とが交錯し合って、相殺されるということを聞いてよいと思ふ、けれども、人間の信仰が護られるのは、何としても自然界から受ける知識によるのである、それにしても人間の日常の判断の中に入ってくる自然界の知識は、いづれかといへば狭いから、四ツ合ふ信見はなかなか纏ひ合られない、この信見を自分にとって近親な者との間に設見するとは、人の歓情は護らるるも、あらゆる努力も無効であるほどに、信見の中に歴かれることが屢々重なってくると、人はどうして明るい人生観をもつことはできない。

信見でも正見でも一つの意識に外ならないが、假りに正見を一つの狙い直線とみ、信見を曲つた一つの狙い線とみる、二と四といふ命題は、正見である、ところが人間の現実生活を見ると、曲つた線の断片であり直線である、この曲つた狙い線の中に、正見の直線の入り込むことはしばしばである